

ライフストーリーワーク 基礎編講座

※基礎編とは、これまでの名称ベーシック初級講座と同じ内容となります。

“講義とワークを通してライフストーリーワークを
基礎から学ぶ”

2026年 10月15日(木)

9時半～16時半 (9時15分 受付開始)

講師: 才村 眞理(元帝塚山大学教授)

: 徳永 祥子(セラピューティックライフストーリーワーク・ジャパン代表)

場所: オンライン(URLは申し込みいただいた方にご連絡します)

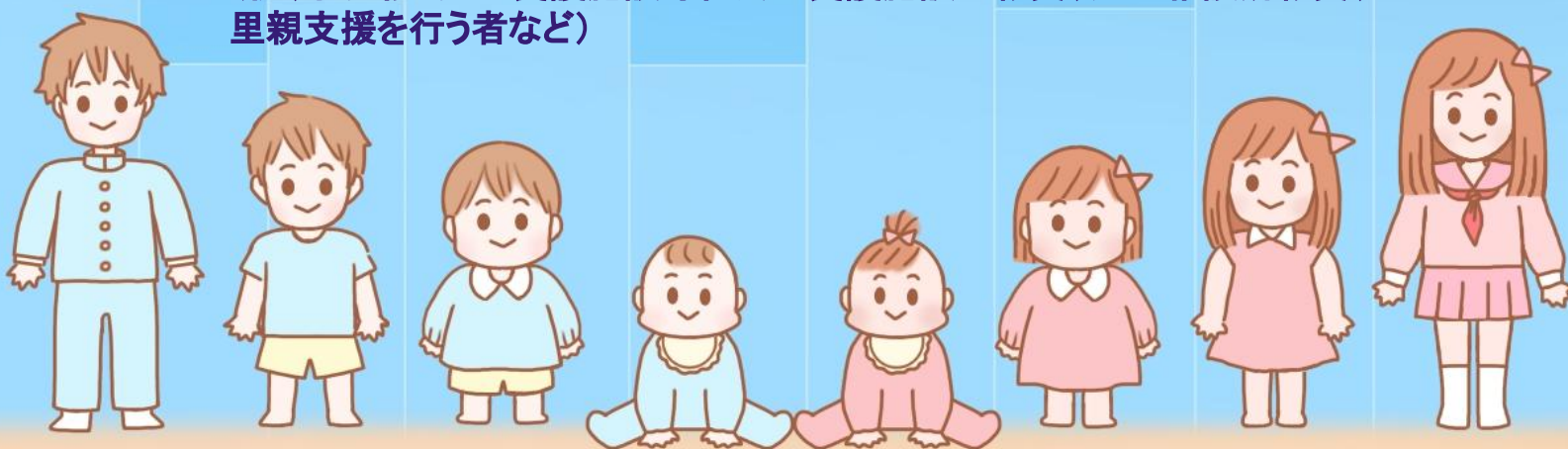
定員: 30名 ※定員達し次第応募締切

(定員に満たない場合には開催されないことがあります)

参加費: お1人様あたり 18,000 円

対象: 社会的養護に関わる人、または関わる予定の人。

(例、乳児院・児童養護施設等社会的養護施設の職員、児童相談所職員、
里親支援を行う者など)



応募方法

右のQRコード、もしくは以下URLからお申し込みください。

<https://bit.ly/LSwMU10>



【お問い合わせ】メールにてお問い合わせください Mail: info@muyuju.org

無憂樹



“みなさんはどのような時、担当のお子さんと 「ライフストーリーワーク」を実践しようと思いますか？”

「ライフストーリーワーク」の実践を難しく思う必要はありません。日々の生活や面接場面、さらには里親家庭で行うライフストーリーワークもあれば、特別な場所や時間を取って子どもとじっくり生い立ちを振り返るライフストーリーワーク(セッション型)など、子どものニーズに応じて様々なものを「ライフストーリーワーク」とよびます。

今回の研修は、「ライフストーリーワーク」を基礎から学び、ライフストーリーワークの視点で日々の実践を捉えなおすきっかけとなったり、セッションの持ち方を想像できるように工夫されています。また、明日から「ライフストーリーワーク」を実践するための「アイデア」をたくさん持ちかえていただけるような内容になっています。

ライフストーリーワークとは

ライフストーリーワークとは、施設や里親宅に暮らす子どもが信頼できる大人と一緒に、自身のこれまでの生い立ちを振り返ることで、自身の人生の物語を作ることができ、不安だったり疑問だったりしたことが、すっと子どもの心に落ち、今の生活に納得でき、未来の人生を考えることができるようになるための手法です。広義には、日常生活の中におけるライフストーリー的視点からの関わりや、ライフストーリーブックを使ったワーク、治療的なワークまで幅広い実践を指します。

<講師紹介>

・才村 眞理(元帝塚山大学教授):大阪府児童相談所(児童福祉司)、知的障害児入所施設(主査)、帝塚山大学心理福祉 学部(教授)の勤務経験。ライフストーリーワーク相談室代表。ドナーリンク・ジャパン社員。社会福祉士。

・徳永 祥子(セラピューティックライフストーリーワーク・ジャパン代表):大阪市阿武山学園、国立武蔵野学院にて児童自立支援専門員として勤務後、日本財団研究員、ウェスタンシドニー大学リサーチフェローを経て現職、福祉社会学博士。

スケジュール

9:15	受付開始
9:30-11:30	講義① ライフストーリーワークとは
11:30-12:30	ワーク① 6つのボックス、喪失のワーク
12:30-13:30	ランチタイム
13:30-15:30	講義② 3つの親
15:30-16:00	ワーク② セッションを考える
16:00-16:30	質疑応答
終了	

※上記は予定です。内容は変更の可能性があることを予めご了承ください。尚、終了時間は多少前後する場合がございます。

【お問い合わせ】 メールにてお問い合わせください Mail:info@muyuju.org